

- 〔座談会〕ポートフォリオ! 敏恵, 藤沼康樹, 田中...
- 〔投稿〕Clinical Case... して(佐野正彦).....
- この先生に会いたい.....
- 〔連載〕センター長E... 臨床医学航海術/は

ポートフォリオ評価を 臨床研修に活かす

自己評価能
成長し続け

医師臨床研修において「評価」が
医師として重要なコミュニケーシ
ン力、あるいは「人格の涵養」など
評価が難しいことが指摘されるよう
になるのが、学校教育や海外の医
生に学ぶ「ポートフォリオ」だ。本座談
会実践を踏まえ、臨床研修における
意義を検証する。



田中 克之氏
マリアンナ医科大学臨床
研修センター副センター長

鈴木 敏恵氏
千葉大学教育学部特命教授
島根県立看護短期大学客員教授

朔 義亮氏=司会
聖マリア病院
健康科学センター診療部長

藤沼 康樹氏
日本家庭医同組合連合会医療部会
家庭医学専門センター長

医師臨床研修が必修化され、修了生が今春誕生しました。いまは指針が専門医集団なので、なかなかできていない部分もあります。いずれは、修了生が本当に臨床研修の謳う目標を達成した医師かどうか、質が問われる時代になると思います。そこで、「評価」のあり方のフィードバックが次の焦点と見えます。

今回は、「ポートフォリオ」を用い

た教育・評価法を推進されている鈴木先生、それから実際に医療現場でポートフォリオ評価を導入されている藤沼先生と田中先生にお話をお聞きしたいと思います。

情報を一元化すると 価値が生まれる

朔 学校教育ではポートフォリオはすでに浸透しているそうですが、医療現場では知らない人もまだ多いですね。

鈴木 ポートフォリオとは、端的に言えば、情報の一元化です。「情報を一元化し俯瞰すると、そこに“価値”ある何かが見えてくる」、これに尽きると思います。

2002年度から、学校教育の場で「総合的な学習の時間」がスタートしました。国語や算数、理科といった教科だけでなく、これからはコンピテン

したいときにはそれでは限界があつて、ポートフォリオが生きてきます。医学もやはり細分化されていますが、「総合的な能力がこれからは重要である」という点では、同じ認識だと思います。

朔 歴史を見る、アルバムのような感じでポートフォリオを捉えていいですか?

鈴木 似ていますが、少し違います。アルバムとポートフォリオの決定的な違いは、それを未来に活かす意図があるかどうかです。例えば日々の仕事をやりっ放しにせず、客観視しながら遂行するといった、「自分や事態を俯瞰する力」をポートフォリオは引き出します。もちろん「1年目のときには、こんなに“患者”“患者”って書いていたのに、4年目になったら、ひと言も出てこない」など、医師として人間としての原点に立ち戻らせてくれる効

バックを受ける
づけを強化して
す。それがボー
ことですね。

鈴木 はい。示
るための自己評
らと立体的に時
や医学などの分
効果的なので

研修医の「 フォロー

朔 藤沼先生は
ポートフォリオ
藤沼 4年前に
ポートフォリ
は、医者になり

ートフォリオ (portfolio)
さみ、書類鞆の意味から転じ、建
やジャーナリストが持つ代表作品
意味。情報を一元化することによ
テストなどで数値化できない成長
価できるとして、現在教育界や医
で広がっている。医師卒業研修に
ては例えば、教育目標や学習計画
め、学びや達成度を証明する資料